



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】江戸歴史講座 第44回 江戸時代の 囲碁と将棋 本因坊算砂と大橋宗桂

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>囲碁、将棋は室町時代に一部の階層で愛好されていましたが、盛んになったのは江戸時代です。徳川家康が「芸能」として認め8名の碁打ち、将棋指しに禄を与えたのが大きな転機になりました。それには碁打ちの本因坊と将棋指し宗桂の存在が大きく、碁家・将棋家として続く基礎を作りました。全国的な普及は碁家・将棋家が4代将軍家綱の時代（17世紀後半）に京都から江戸に移住されてからで、参勤交代の武士達に教え、段位制度を定めるなどの工夫があったからと言えます。今回、最新研究をもとに新しい解釈を説明します。</p> <p>※千代田区民の方は参加費が割引となりますので、住所が確認できるものをお持ちください。</p>
日にち	2017年05月25日（木） 19:00から20:30
日にち説明	18:30開場

場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名（事前申込順）
参加費用	1,000円（千代田区民500円）

講師・出演者	増川宏一
プロフィール	<p>■増川 宏一（ますかわ こういち）遊戯史学会会長</p> <p>1930年長崎市生まれ、旧制甲南高校卒業。以来、将棋史及び盤上遊戯史を研究し、海外の博物館を訪れる。大英博物館リーディンググループ・メンバー。チェス史研究支援財団名誉会員。日本将棋連盟歴史文化アドバイザー。第17回将棋ペンクラブ大賞特別賞、第21回大山康晴賞受賞。著書に『将棋』『すごろく』『遊戯—その歴史と研究の歩み』（法政大学出版社）、『碁打ち将棋指しの江戸』『日本遊戯思想史』（平凡社）など多数。国内外での遊戯史関係論文多数。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------


申込期間	2017年03月26日 10:00 から2017年05月25日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	①お電話（03-3502-3340）、②Eメール（college@hibiyal.jp）、③ご来館（1階受付）いずれかにて講座名（または講演会名）・お名前（よみがな）・お電話番号をお知らせください。
------	---

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 05月						
	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

発信日	2017.03.26
-----	------------

 印刷

 リストに追加

ツイート

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.